

第2章 古代までの日本 2節 日本列島の誕生と大陸との交流

対象学年	中1	教科	社会（歴史）	難易度	★☆☆☆
単元	日本列島の誕生と大陸との交流 ー日本列島の誕生と縄文文化ー				
課題	現代に暮らす私たちは、縄文時代の人々の生活をどのようにして知ったのでしょうか？				
課題の説明	小学校でも習った縄文時代ですが、私たちは実際に縄文時代の人々の暮らしを見たことはありませんよね？では、どうして彼らの生活がわかるのでしょうか？どうやって調べているのでしょうか？探してみてください。				

対象学年	中1	教科	社会（歴史）	難易度	★★☆☆
単元	日本列島の誕生と大陸との交流 ー日本列島の誕生と縄文文化ー				
課題	縄文時代の人々の生活はどのようなものだったのでしょうか？				
課題の説明	縄文時代の人々、どこに住み、何を着て、何を食べていたのでしょうか？当時の人々の暮らしを調べてみましょう！また、当時の皆さんと同じ年代の人々はどのようなことをし、何をして遊んでいたのでしょうか？				
解決のヒント	教科書や資料集、インターネットなどで調べてみよう！調べてもわからないことは想像してみるといいね。その時は、調べて分かったことと、調べて想像したことを分けてわかるようにまとめておくことが重要だね。				

対象学年	中1	教科	社会（歴史）	難易度	★☆☆☆
単元	日本列島の誕生と大陸との交流 ー弥生文化と邪馬台国ー				
課題	古代中国の歴史書や地理書にある日本に関する記述を挙げてみよう！				
課題の説明	教科書や資料集などを使って、紀元前後（2000年程前）までの日本について書かれている中国の書物を挙げて、どのようなことが書かれているか調べてみよう！				

対象学年	中1	教科	社会（歴史）	難易度	★★☆☆
単元	日本列島の誕生と大陸との交流 ー弥生文化と邪馬台国ー				
課題	稲作によって人々の生活はどのように変わったのでしょうか？				
課題の説明	稲作が伝わることによって、狩猟から農耕へと変化をしていきました。では、狩猟から農耕に変化すると、当時の人々の生活や考え方はどのように変化をしていったのでしょうか？思いつくだけ挙げてみましょう。				
解決のヒント	実は狩猟から農耕への変化は、皆さんが想像する以上に大きいものです。使う道具や生活様式だけでなく、人々の考え方や、社会システムまで変わっていきます。できる限り、そのような面も想像してみましょう。				

対象学年	中1	教科	社会（歴史）	難易度	★☆☆☆
単元	日本列島の誕生と大陸との交流 ー大王の時代ー				
課題	古墳は何のために作られたんでしょう？				
課題の説明	小学校でも古墳の学習はしたと思います。この古墳、大王（おおきみ）が活着いてる時から作っていたものもありますが、お墓としての役割だけだったんでしょうか？調べてみよう！				

対象学年	中1	教科	社会（歴史）	難易度	★★☆☆
単元	日本列島の誕生と大陸との交流 ー大王の時代ー				
課題	古墳は大陸から日本に伝わったと言われています。この時代に大陸から日本にどのようなものがもたらされ、どのような人々がそれを伝えたのでしょうか？				
課題の説明	この時代に大陸にあったものや技術が日本にもあることから、何らかの方法で日本と大陸には交流があったと考えられています。では、具体的にどのような人々が何を伝えたのでしょうか？日本と大陸、どちらがどちらに伝えたのでしょうか？調べてまとめておこう！				

対象学年	中1	教科	社会（歴史）	難易度	★★★☆☆
単元	日本列島の誕生と大陸との交流				
課題	縄文時代から大和政権までを振り返って、ムラから国家ができていった一番大きな要因（原因）は何だったと思いますか？				
課題の説明	縄文時代は10人前後の集団で生活していたと考えられていますが、大和政権になると九州から東北南部までの広い領域を支配するようになっていきます。この時代の学習を振り返って、このように国ができていった理由は何なのかを考えてみましょう。教科書や資料集には、はっきりとした答えがないかもしれません。これまで学習してきた部分を振り返って考え、まとめてみましょう。				

対象学年	中1	教科	社会（歴史）	難易度	★★★★
単元	日本列島の誕生と大陸との交流				
課題	大和時代の国（国家）と現在の国（国家）の共通点と相違点を考えてみましょう！				
課題の説明	縄文時代から大和政権までで国ができていく過程を学習しました。では、小学校6年生でも習った現在の日本の国とこの時代の国はどのような部分の考え方が共通で、どのような部分の考え方が違うのでしょうか？当然、多くの共通点と相違点がありますし、同じ内容を見ている共通、相違が違くと捉える場合もあるでしょう。答えは一つではありませんので、なぜそう思ったか、ということをはっきりさせながらまとめてみましょう！				
解決のヒント	まとめ方は文章でなくても、図や表など、わかりやすくまとめればいよいよ！考えたことが現れるまとめ方をしよう！				